

企業のチャレンジを応援する
ビジネス創造誌

NICopress

公益財団法人にいがた産業創造機構 vol.191

2023

2024

12・1

NICO設立
20周年記念号

20th ANNIVERSARY

新潟県内企業とともに歩んで20年

▶ NICO設立20年の歩み

▶ NICOアドバイザーインタビュー

くらた まなぶ 氏
田中 聡子 氏
中村 正樹 氏
星野 雅博 氏

▶ NICO活用企業インタビュー

グローバルマーケティング株式会社
株式会社エステーリンク
hakkai株式会社
株式会社きものブレイン

▶ NICO支援活用商品オススメ20選



Niigata
Industrial
Creation
Organization

公益財団法人
にいがた産業創造機構

20th
ANNIVERSARY

おかげさまで

にいがた産業創造機構 NICOは
設立から20周年を迎えました。

NICOは、チャレンジする企業のパートナーとして2003年に設立。

『新潟の産業をもっと元気に』を使命に、「むすぶ」「育てる」「創る」という
機能を発揮しながら、新規創業や第二創業、新分野進出など企業の経営革新を
促進し、さらに次代をリードする産業の創出支援に取り組んでまいりました。

沿革 HISTORY

2003(平成15)年 4月

■(財)にいがた産業創造機構 設立

■(財)新潟県中小企業振興公社(1971年4月設立)を母体に、
(財)新潟県生活文化創造産業振興協会(IDS財団)と統合

■中小企業再生支援協議会設置(経済産業省所管)(2003年3月)



万代島ビル
9F

NICO Niigata Industrial Creation Organization
テクノプラザ

2004(平成16)年 11月

■(財)信濃川テクノポリス開発機構と統合
(長岡市にテクノプラザ設置)



2013(平成25)年 4月

■公益財団法人へ移行



N'ESPACE
表参道・新潟館

2006(平成18)年 4月

■(財)ニューにいがた振興機構と統合
同年12月 表参道・新潟館ネスパ
スリニューアルオープン

2005(平成17)年 4月

■(社)新潟県産業貿易振興協会と統合
(ソウル事務所、大連事務所)



2014(平成26)年 6月

■新潟県よろず支援拠点設置
(経済産業省所管)



2021(令和3)年 4月

■新潟県事業承継・引継ぎ支援センター設置
(経済産業省所管)

[事業引継ぎ支援センター(2015年設置)と
事業承継ネットワーク事務局(2018年設置)を統合]



2022(令和4)年 4月

■新潟県中小企業活性化協議会設置(経済産業省所管)
(中小企業再生支援協議会と経営改善支援センター
(2013年設置)を統合)



(公財)にいがた産業創造機構 20年間の取組

新潟の産業をもっと元気にするために、県内企業の「挑戦」を応援してきました

NICO利用企業数(※1)

延べ **236,138** 社
(2003～2022年度)



NICO支援策活用企業数(※2)

延べ **24,459** 社
(2003～2022年度)

〈参考〉県内企業数 83,233社(2016年)

(出典:総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」)

※1 NICO利用企業数:セミナー参加、各種相談等を含めた、NICO全体の利用企業

※2 NICO支援策活用企業数:創業や経営改善、基盤強化等、NICOの育成・支援策を活用した企業

起業・創業支援

- 起業に関する相談から事業計画の策定、創業後のフォローアップまで、専門家相談や助成金により、起業に挑戦する方を支援

新商品・新技術開発支援／経営革新支援

- 新しい事業展開や有望な産業分野への進出を応援する「ゆめ・わざ・ものづくり支援」や、次代に向けたものづくりを支援する「百年物語」「ニイガタIDSデザインコンペティション」などにより、県内産業の高付加価値化等を支援
- 新技術開発や新分野進出、新事業展開などの経営革新の取組を、助成金や設備貸与、マイナス金利制度などにより支援

販路開拓支援

- 専門家のアドバイスやバイヤーとのマッチングにより、商品のブランド力や提案力の向上などを後押し
- 海外見本市への出展支援、海外市場調査、海外向け販路拡大支援などにより、県内企業の国際展開を支援
- 展示会への共同出展や、首都圏情報発信拠点の運営、県外百貨店等での「新潟物産展」の開催などにより、首都圏などの大消費地に向けた販路開拓を支援

人材育成支援／研究開発支援

- 県内大学等と連携し、モノづくり企業の「人づくり」を支援する講座を開催
- 技術の高度化や高付加価値化を促進するため、産学官連携による共同研究のコーディネートや技術課題解決を支援

IT活用支援(DX支援)

- 「高度IT人材育成研修」などにより、IT技術者の育成を支援
- AI・IoTなどのデジタル技術を活用したビジネスアイデアの創出や県内企業のDXに向けた取組を支援

専門家派遣・相談支援

- 中小企業が抱える様々な課題の解決を図るために、専門家を派遣
- 「下請かけこみ寺」や「よろず支援拠点」など、各専門分野のアドバイザーや相談部署の設置により、企業の課題解決を支援

企業活性化支援／事業引継ぎ支援

- 専門的な部署の設置により、企業の事業再生計画の策定や事業承継・引継ぎなどを支援

次ページからは、この20年間のNICOの歩みや、
NICOのアドバイザーとして協働いただいた方々からのメッセージ、
NICOを活用いただいた県内企業・商品をご紹介します。

2003年

(財)にいがた産業創造機構設立
(財)新潟県生活文化創造産業振興協会
(IDS財団) 統合
11月 アルビレックス新潟J1昇格

2004年

(財)信濃川テクノポリス開発機構統合
平成の大合併により県内自治体の再編が進む
(～2010年まで)
4月 消費税の内税表示義務化
7月 新潟・福島集中豪雨(7.13水害)発生
10月 新潟県中越地震発生

2005年

(社)新潟県産業貿易振興協会統合
3月 2005年日本国際博覧会
「愛・地球博」開催
4月 個人情報保護法施行
4月 ペイオフ全面解禁

2006年

(財)ニューにいがた振興機構統合
1月 日本郵政(株)設立

2007年

4月 新潟市、本州日本海側初の
政令指定都市に指定
7月 新潟県中越沖地震発生
9月 世界金融危機
10月 郵政民営化

2008年

4月 後期高齢者医療制度開始
5月 新潟市でG8労働大臣会合開催
9月 リーマン・ブラザーズ破綻
(リーマン・ショック)

2009年

7月 国際宇宙ステーションで
日本実験棟「きぼう」が完成
9月～第64回国民体育大会本大会
「トキめき新潟国体」が開催

2010年

1月 日本年金機構が発足
10月 新潟市で
APEC食料安全保障担当大臣会合開催
10月 羽田空港国際線ターミナル駅が開業

2011年

3月 東日本大震災発生・長野県北部地震発生
3月 九州新幹線全線開業
7月 アナログ放送から
地上デジタル放送へ完全移行

2012年

5月 「東京スカイツリー」開業

2013年

6月 「富士山」信仰の対象と芸術の源泉」が
世界文化遺産に登録
12月 「和食：日本人の伝統的な食文化」が
ユネスコ無形文化遺産に登録

2014年

3月 大阪府で「あべのハルカス」が開業
4月 消費税率が5%から8%へ引き上げ
6月 「富岡製糸場と絹産業遺産群」が
世界文化遺産に登録
9月 御嶽山噴火

NICO設立 20年の歩み

2003年 NICO設立

- 創業・経営革新支援
 - 高度IT人材育成
 - ニイガタIDSデザインコンペティション
 - ゆめ・わざ・ものづくり支援
 - 専門家派遣
 - 百年物語
 - 国際展開支援
 - 産学連携
 - 設備貸与・設備資金貸付
 - 企業再生支援
- などの事業からスタート



百年物語

「百年後にも大切にしていきたい生活文化を楽しみ、継承し、創造していくための道具」をブランドコンセプトに、新潟県内のモノづくり企業とNICOが協働で進める地域発のブランド構築プロジェクト。

延べ開発点数
942点(2003～2022年度)



ニイガタIDSデザインコンペティション

ファクトリーブランドの確立による産業の振興を目的に、1990年から毎年開催しているデザインコンペ。[生活創造と社会進化の商品やシステム、サービスなどの開発と新潟特性の活用]をコンセプトとし、県内産業の次代への提案力、発想力を発見し、発信していく機会としている。

延べ出品点数
2,394点(1990*～2022年度)

*1990～2002年度は
NICOに統合前のIDS財団が実施

2004年 NARIC、日本橋・にいがた館NICOプラザ#2の運営開始

- (財)信濃川テクノポリス開発機構の統合により、NICOテクノプラザ(長岡市)を設置。起業家や研究開発型企業の支援を目的とした「NARIC」の運営を承継。



NICOテクノプラザ

- 展示交流スペース、オープンオフィスを備えた、県内企業の首都圏展開を支援する拠点として「日本橋・にいがた館NICOプラザ#2」を設置。2012年まで運営。



日本橋・にいがた館NICOプラザ#2

2005年 海外販路開拓の促進／防災・救災産業研究会発足

- (社)新潟県産業貿易振興協会との統合を機に、「海外見本市出展事業」を開始。
- 前年に発生した新潟県中越地震をきっかけに、震災の経験から得た教訓と新潟県が有する多様なものづくりの技術を活かし、真に役立つ防災・救災商品の開発と全国に向けた情報発信に取り組む「防災・救災産業研究会」を発足。



危機管理産業展

2006年 県外販路開拓の強化

- (財)ニューにいがた振興機構の統合により、表参道・新潟館ネスパスを活用した販路開拓支援を開始。同年12月に、新潟県のアンテナショップヘリニューアル。
- 県外百貨店における新潟物産展開催事業の開始。



表参道・新潟館ネスパス



会席・和食「にいがたの味 静香庵」

2007年 長岡モノづくりアカデミー開講

機械関連企業で働く開発・設計技術者を対象に、高度で専門的な研鑽の場の提供と、企業の人的基盤の強化や人的ネットワークの形成を目的に、NICOテクノプラザで「長岡モノづくりアカデミー」開講。



延べ受講者数
1,715名(2007～2022年度)

2010年 起業支援の促進／円高対策の実施

- 若い世代による起業を奨励するため、関係団体とも連携を行いながら、その新事業の立ち上げ段階におけるリスクを軽減するための助成などを行う「起業チャレンジ奨励事業」を開始。
- 急激な円高の進行への対応として、設備投資を促進するための融資必要額に対する利子相当額を補助する「円高対策設備投資緊急促進事業（マイナス金利）」や、地域中核企業の販路開拓支援を実施。
- 県内金融機関等と連携し、首都圏食品流通関係者向けの「うまさぎっしり新潟・食の大商談会」を開始。



うまさぎっしり新潟・食の大商談会

2014・2015年 各種相談窓口の設置により支援機能を強化

- | | |
|--|--|
| <p>2014年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新潟県よろず支援拠点設置 | <p>2015年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新潟県事業引継ぎ支援センター設置（現 新潟県事業承継・引継ぎ支援センター） ●新潟県プロフェッショナル人材戦略拠点設置 |
|--|--|

2017年 AI・IoT導入支援等開始

- 従来より実施してきた「高度IT人材育成事業」において、AI・IoT等の先進技術分野における県内IT企業等の参入を促進するためのIT技術者の育成コースを実施。
- AI・IoT等を導入するユーザー企業と製品・システムを販売するIT企業等とのコーディネートを行う人材を育成する「AI・IoT導入推進人材育成事業」を実施。
- 首都圏などからのU・Iターン起業や、県外出身で県内在住の大学院生等による創業を支援する「U・Iターン創業加速化事業」を開始。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、一層の拡大が期待されるインバウンド市場を対象とした「訪日外国人向け販路開拓事業」を実施。

高度IT人材育成事業

延べ受講者数 **5,686名**（2003～2021年度）

2018年 新事業展開の支援

- 県内中小企業の研究・開発・生産技術の高度化、有望分野への進出を促進するため、新製品や新商品、新技術開発等による新事業展開を図る取組を支援する「イノベーション推進事業」を開始。
- 県内企業と大学・研究機関等によるコンソーシアムが事業化を見据え、国等の競争的資金獲得のために行う研究開発の事業可能性調査・研究等を支援する「次世代産業技術創出支援事業」を開始。

イノベーション推進事業
開発事例



船上用デジタル秤

2019年 デザイン力、技術提案力の向上支援

- 外部専門家やクリエイターを活用しながら、デザイン視点で企業戦略から商品企画、開発、流通化までを一体支援する「Design LAB」を開始。
- 展示会等での取引や販路の拡大を図るため、外部専門家の助言・指導により、発注企業から技術力・提案力に秀でたパートナーとして認められる企業を育成する「技術提案力向上支援事業」を開始。

Design LAB



Design LABスタート記念 NICOデザインフォーラム

2021年 DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

- DXの急速な進展に対応するため、企業のDX推進に向けた経営計画策定やIT人材育成などを支援するとともに、デジタル技術を積極的に活用した販路開拓を支援し、新たな価値創出を促進する事業を開始。

<主な実施事業>

- DX推進試作開発支援事業
- DX推進情報発信事業
- データ利活用型設備導入支援事業



データ利活用型設備導入支援事業 導入事例

2020～2021年 感染症対策への支援

- 新型コロナウイルス感染症により引き起こされた急激な環境変化に対応するため、企業のニーズを踏まえた支援を行うとともに、専門家による対応や相談窓口の開設等を実施。

<主な実施事業>

- 越境EC等非接触型海外展開支援事業
- ハイブリッド展示会出展支援事業
- オンライン営業力強化支援事業
- 緊急経営安定対策専門家派遣事業

社会のできごと

2015年

- 3月 北陸新幹線 長野から金沢までの240kmが開業
- えちごトキめき鉄道移管新設
- 9月 「持続可能な開発目標（SDGs）」を中核とする「持続可能な開発のための2030アジェンダ」国連サミットで採択
- 11月 国産初のジェット旅客機、初飛行成功

2016年

- 1月 日銀がマイナス金利政策導入
- 1月 マイナバー制度の利用開始
- 2月 日米など12か国がTPP（環太平洋パートナーシップ）協定に署名
- 3月 安全保障関連法が施行
- 4月 熊本地震発生
- 5月 主要国首脳会議（G7サミット）が三重県の伊勢志摩で開催
- 6月 公職選挙法等の一部を改正する法律の施行（選挙権年齢を18歳に引き下げ）
- 12月 糸魚川市大規模火災発生

2017年

- 7月 九州北部豪雨発生

2018年

- 7月 西日本豪雨発生
- 9月 北海道胆振東部地震発生
- 10月 築地市場、豊洲へ移転

2019年

- 5月 「令和」に改元
- 6月 山形県沖地震発生
- 村上市で最大震度6強を観測
- 10月 消費税8%から10%に引き上げ
- 12月～新型コロナウイルス感染症の流行

2020年

- 1月 日本で最初の新型コロナウイルス感染者を確認
- 3月 第32回東京オリンピックの延期を決定
- 4月 新型コロナウイルスにより緊急事態宣言発令
- 10月 政府が2050年カーボンニュートラルを目指すことを宣言

2021年

- 1月 上中越地域を中心に大雪。上越、長岡、柏崎など6市に災害救助法を適用
- 7月 第32回東京オリンピック開催

2022年

- 2月 ロシアがウクライナへ軍事侵攻
- 8月 新潟県の県北地域で豪雨災害
- 10月 東京外国為替市場で円相場が一時、1ドル＝150円台まで下落
- 10月 アルビレックス新潟6年ぶりのJ1復帰
- 12月 新潟県内で局地的な大雪。交通網に影響

2023年

- 2月 トルコ・シリア M7.8地震発生
- 5月 新型コロナウイルス感染症「5類」移行
- 5月 新潟市でG7財務大臣・中央銀行総裁会議開催
- 5月 G7広島サミット開催

interview

01 ユーザーの声を大切にしていくなことを決して忘れずに

私は2000年から中小企業振興公社で新事業コーディネーター、NICO設立後はアドバイザー等を務めました。新規事業に悩みを持つ方の個別相談を受ける「くらたデイ」を提案し、小規模事業者や個人事業主を中心にサポートしてきました。煙火店から独立しプライベート花火の事業を立ち上げた方や、父の塾経営の承継を迷っていた方など、カウンセラーのように寄り添い多くの声を聴いてきました。事業プランについて真剣に評価すると「分かってもらえた」と男泣きする人もいて、挑戦者の壁をクリアし、アイデアを生む支援を心がけてきました。

驚いたのは、新潟の方は現物(製品や産物)でのプレゼンが多かったこと。これは「藍染めです」「歯車です」といった具合で、皆さんモノづくりに自信があり、地に足がついていて、「実」という点ではすごいと思いました。ところが、「誰に向けたものなのか?」、「コンセプトは?」という話になると言葉が出てこなくて、必死にその重要性をアプローチしていたのが初期ですね。

新規事業を謳うと、最初から大看板を掲げがちですが、例えばトヨタも最初は織機事業からのスタートです。私もかつて在籍していたリクルート社で旅行情報誌を創刊後、「よくぞ業界に改革を起こしましたね」と言われましたが、最初からそんな大それたことは考えていません。消費者の声をよく聴き、それをヒントに消費者が喜ぶことを実行していった結果が、そうなった。企業の皆さんにもNICOにも、ユーザーの声を大切にしていくなことを決して忘れないでいただきたいです。

県内産業へメッセージ

受け入れたくない意見やアドバイスでも、まず受け止めてください。受け止めたなら留め置いておけばいいのです。時間が経つとそれが自分の中で発酵し、気持ちに変化を与えてくれて、事業の変えるべきところが見えてきます。その変化は確実にお客様にも伝わるはずですよ。



くらた まなぶ 氏

株式会社あそぶとまなぶ 代表取締役
[NICO在職期間 2003～2021年]

1979年にリクルート入社。「とらばーゆ」「エイビーロード」「じゃらん」「ゼクシィ」など14の情報誌を創刊し、「創刊男」の異名をとる。現在は経営コンサルタントとして活躍中。



田中 聡子 氏

株ミセラボ代表取締役
中小企業診断士 一級販売士
[NICO在職期間 2014年～現在]

老舗百貨店に勤務後、販売・仕入・商品開発などの現場経験を活かし、小売業やサービス業を中心にコンサルティングやセミナー等で活躍。創業・経営相談の経験を活かし、創業支援にも力を入れる。

interview

02 未来の夢を語り、一緒に笑い合える応援団づくりを

NICOでは2014年から「創業塾」の講師など、創業支援や経営革新の事業を主に担当し、昨年からは食品メーカーを対象に商品開発のアドバイスをしています。

私が関わった支援で印象に残っている事業者は、熱量が飛び抜けています。自分のしたいことだけでなく、事業が世の中のためになると信じてひたむきに取り組むので、応援団が自然に増えていきます。応援したくなる生き方が、人の心を打ち、結果的に事業の成長につながっていると感じます。また、行動できる方は変化のスピードが速いです。アドバイスされたことに異論があっても一度は試してみる。上手くいっても失敗しても経験になるので、まずは行動してみるということが変化につながりやすく、成長する近道です。

NICOの良いところは、職員自らが事業者に会いに行き直接話を聞く体制がある点です。今後もその姿勢を貫いてほしいですね。「NICOの〇〇さんに相談したい」と思ってもらえる関係性を磨き続けることを期待しています。

また、NICOにも、県内外の支援機関と「腹を割って話せる」仲間を増やしてほしい。相談先が多い方が、アイデアが集まり、課題解決に向けたスピーディーな支援ができます。

各支援機関との交流をさらに増やし、ネットワーク力を強化していただければと思います。

県内産業へメッセージ

創業後、成功する事業者は、謙虚でありながらチャレンジを怖がらない人が多い印象です。「こんなことを言っても」と思わず、勇気を出して一度相談に来てください。そして照れくさいと思わずに未来の夢を語り、一緒に笑い合える応援団を増やして欲しいと思います。

interview

03

モノづくりの未来へ、自由な発想で挑戦を

2003年にスタートした「百年物語」の統括マネージャーとして、長年商品開発のお手伝いをしています。NICOが設立された2003年当時、海外に工場移転する企業が増え、新潟のようにモノづくり産業が集積している地域で企業が海外移転によって衰退した場合、その地域の力は失われるという危機感がありました。そこで新潟が持つ得意技を活かし、世界に通用するブランドを築こうという百年物語プロジェクトが生まれたのです。スタートに合わせてドイツ・フランクフルトの見本市を参加企業が視察し、日本の技や文化をテーマにしたモノづくりをするという指針ができました。

20年を経て、世界の見本市に自社で出展する企業も増え、生活者視点を持ったモノづくりも定着してきました。ただ、今は良いモノを作るのは当たり前で、価値基準が細分化している人たちに、どう伝えるかという情報を作る力、売り方を作る力を各企業が持たないといけなくなっています。そういう意味で、NICOの支援として、商品開発だけでなく、1社では難しい「情報開発」に多様な企業が参加し、連携して情報を発信できるような仕組みや活動を提供していくことを期待したいと思います。

そしてNICOの方々も企業を訪問し、現場との交流から学んだことを他の企業にお返しする、企業と企業を知恵でつないでいくという役割をさらに強化していただければと思います。

県内産業へメッセージ

これからの時代を生き残り、成長するには、自分たちの強み、軸を踏まえつつ、これまでの事業や商品領域にこだわらず、可能なこと全てに挑戦する意識が大切です。また、情報化の变革の中でも、「モノづくりの力」は変わらずに全ての基本です。新潟のモノづくり産業が明日を拓けると信じています。



中村 正樹 氏

㈱環境構造研究システム代表取締役
[NICO在職期間 2003年～現在]

企業CI、事業戦略、ブランディングなどで活躍。NICOでは「百年物語」統括マネージャーをはじめ、商品開発の支援やデザイン相談などを担当。また、防災×ライフ研究会等のアドバイザーも務める。



星野 雅博 氏

星野ビジネスコンサルティング代表
中小企業診断士 ITコーディネータ
[NICO在職期間 2003～2015年]

中小企業振興公社時代の2000年から新事業育成メンター等を務め、県内のIT産業育成支援に従事。また、インキュベーションマネージャーとして新規創業者の支援を行った。

interview

04

新しい技術を取り込んで、ビジネスを起こす力を

NICOの設立時からIT系事業のメンターとインキュベーションマネージャーを担当してきました。当初から我々が目指してきたのは県内のIT産業育成と、ITを活用した企業の経営革新。平たく言えば「ITを使ってお金を儲けてください」ということです。その対策として打ち出したのが、Sler*のレベルアップと連携、民間企業のIT活用による企業の活性化、それを下支えるIT関連の人材教育。さらに組み込みソフトウェア技術者の教育です。こうした取組の成果の一つとして、2007年に情報処理推進機構(IPA)「ソフトウェアエンジニアリングベストプラクティス賞」を受賞したことは、強く印象に残っています。

また、一般企業はITの導入には熱心ですが、デジタル技術を活用して自社のビジネスをどう変革するかというDXについては、なかなか理解が進みません。そこで「IT戦略研究会」を立ち上げ、クラウドを活用した新しいシステム開発を始めました。その一つが農作業の記録・圃場管理アプリで、全国展開につながった成功事例となっています。

今後のNICOには県内外の企業、大学などと連携を深め、そこで得た情報を元にマッチングにつなげるような、新しいビジネスを応援する役割を担ってほしい。県内産業のビジネスモデルを後押しする組織でいてほしいと思います。

*システムインテグレーター。顧客の要望に応じてシステムの企画構築、運営サポート等の業務を一括して請け負う事業者。

県内産業へメッセージ

新潟の企業は「守る力」は強いですが「攻める力」は弱いと感じるので、新しい技術を取り込んでビジネスを起こす力を伸ばしていただきたい。そして、モノであれサービスであれ、付加価値を高めたものを提供するという努力が必要です。

NICOの創業支援が成長の
スピードアップにつながる



創業準備オフィスでは、NICOの皆さんからface to faceで情報をいただいたのがありがたかったですし、支援事業に採択されたことも自信につながりました。創業時に支援を受けたことで、成長のスピードアップにつながったと感じます。

創業準備オフィスを活用。 情報提供や助言が大きな力に

地域の中小企業を対象にマーケティング支援事業を展開するグローバルマーケティングは、東京のコンサルティング会社に勤務していた今井代表が、2006年に長岡で創業。同年、NICOの創業準備オフィスに入居する。「県内全域を商圈にしたかったので、新潟市内に拠点を持ちたいと思っていたところ、知人から創業準備オフィスのことを教えてもらったのです」と今井代表。そして入居1年目に考えたビジネスプランが、にいがた子育て応援団「トキっ子くらぶ」だった。「インキュベーションマネージャーだった星野さんや、NICOの担当者から情報提供や助言をいただいたのが大きな力となり、この事業が『にいがた・ニュー・エジソン育成事業』に採択されました。このオフィスにいたことで情報を入手できるスピードが速く、補助金へのチャレンジも皆さんに背中を押してもらわなければ、自分には無理だとあきらめていたと思います」。



にいがた子育て応援団「トキっ子くらぶ」は、新潟県内に住む0歳から18歳未満の子どもがいる家庭なら誰でも入会できる会員組織。会員は無料でさまざまな特典を受けられ、協賛店・企業は集客やイメージアップにつなげることができる。



NICOクラブ会員

グローバルマーケティング株式会社

代表取締役 CEO 今井 進太郎 氏

長岡市城内町3-2-1 山嘉ビル3F

TEL.0258-89-6221 URL <https://glocal-marketing.jp/>

NICO活用事業 ●2006年度 創業準備オフィス
●2007年度 にいがた・ニュー・エジソン育成事業 ほか



県外にも拠点があり、取引先は現在42都道府県に及ぶ。



コンサルタントによる「わかりやすく実践できる」セミナー・研修を随時開催。マーケティングに関するセミナーや動画配信を行う「実践マーケティング大学」は、参加者延べ4,500人を突破(2023年3月時点)。

マーケティングのノウハウで 人材採用・育成支援を強化

オフィスに入居していたときから、NICOの専門家相談や個別相談を積極的に活用していたという今井代表。「トキっ子くらぶの協賛店の開拓方法を相談したときに、当時NICOの新事業育成メンターだったくらたさんから「協賛するメリットよりも、自分の思いを伝えることが一番大切」と助言され、とにかくお店を回って自分の思いを伝えました」と話す。徐々に協賛店や子育て家庭の会員を拡大。メインであるコンサルティングやセミナーも実績を伸ばし、「マーケティング支援」と「人材採用・育成支援」が主力事業として成長していった。さらに、現在はNICOの登録専門家、事業委託先として販路開拓やWeb活用などの支援を行っている。

今後は人材採用・育成の分野に注力していきたいという今井代表。「県内企業はどれも人手不足という課題を持っているので、人材の採用と育成のコンサルティングを強化していきたいです。採用の戦略づくりはマーケティングの考え方と近いため、マーケティングのノウハウを活かして採用分野でもお役に立てればと思います」。同社が掲げる「地域創造カンパニー」として中小企業を支援し、地域経済・社会の発展に貢献していく。

MESSAGE

NICOに期待すること

NICOさんには「NICOクラブ会員」をはじめ、ネットワークがたくさんあるので、その中で企業同士がマッチングできる仕組みがもっとあると、中小企業も助かるのではないのでしょうか。例えば、それぞれの企業の課題に応じて、こういう会社があるという情報を提供してもらえると、とてもありがたい。信頼できる機関からご紹介いただける機会は少ないので、そうしたマッチングの場を設けていただくことを期待しています。

株式会社エステーリンク

代表取締役 齋藤 隆範 氏

燕市笈ヶ島1365-1

TEL.0256-97-4846 URL <https://www.st-link.co.jp>

NICO活用事業

- 2003、2008～2010年度 ゆめ・わざ・ものづくり支援事業
- 2015～2016年度 海外見本市等出展事業助成金
- 2017年度 中小企業等外国出願支援事業
- 2019年度 長岡モノづくりアカデミー
- 2022年度 イノベーション推進事業、DX「やる気」の県内企業育成事業 ほか

オリジナル商品開発や 海外見本市に挑戦

1973年に創業したエステーリンク(創業当時は齋藤鐵工)は、金属加工業向けの集塵装置の開発から始まり、精密板金溶接加工分野に進出。1984年には県内で初めてレーザー加工機を導入し、技術を磨いてきた。

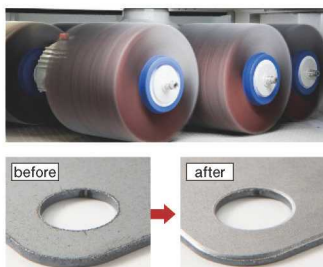
2003年には、それまで人の手に頼っていたバリ取り作業を機械化。NICOの「ゆめ・わざ・ものづくり支援事業」を活用し、オリジナルのバリ取り機「メタルエステ」を開発した。「メタルエステの開発に関しては、2003年に補助金を活用させていただきました。2015年頃には海外展示会への出展でお世話になりました。ベトナム、中国、タイなどの展示会に参加し、複数企業の共同出展という点でも、他社さんの様子を見て勉強になることが多かったです」と齋藤代表は話す。これまでに商品開発や外国の特許出願の支援、IoT活用による生産工程管理の改革などでNICOを活用。最近ではDX関連のセミナーに参加し、研鑽を積んでいる。



国内外の展示会に積極的に参加し営業・商談の軸としてきた。2015～2016年はNICOの支援を活用してアジア各国の展示会にも参加。



最新機種のバリ取り機「メタルエステ1000」は6本の研磨ブラシが回転しながら旋回し、多方向からパーツを研磨できる。他にも板金加工業者のニーズに応じた機種をラインナップ。食品加工機械、建設機械関連、自動車部品など幅広い業界で活用されている。



MESSAGE

NICOに期待すること



全ての挑戦は経験になる。
新しい挑戦と市場の
創造を続けていく

バリ取り機も大型空気清浄機も、ニッチな分野で他社が作らない商品です。新しいものを使ってもらうには「それを使うことが当たり前」になるような市場を創造する必要があります。いずれ競合も出てきますが、競合がいてこそ市場のレベルも上がります。



装置の設計プランニングから加工組み立てまで一貫してできる総合力を構築し、市場を切り拓いてきた。

一つ一つのトライアンドエラーが 今につながっている

NICOの支援やその成果について齋藤代表はこう話す。「『この支援があったからこれができた』という直接的な成果だけではなく、NICOさんの支援があることでトライアンドエラーが非常に回りやすいことが私たちにとっては大きいです。挑戦する意欲があってもお金の問題や、やり方が分からないことがあります。そこに支援をいただけるので思い切って挑戦できますし、結果が伴わなくても経験は確実に残ります。その一つ一つが今の事業に結びついています」。

今後は、集塵装置開発で培った「空気を操る」技術を活かして、広い生産工場で使える大型空気清浄機の開発に力を入れる予定だ。すでに他社からの引き合いもあり、開発製造対応が進んでいる。従業員の健康や作業環境の改善が求められる今の時代、ニーズが高まりそうだ。

「大事なのは市場の創造です」と話す齋藤代表。レーザー加工機をはじめ、バリ取り機も大型空気清浄機もいち早く開発を始めた。顧客の潜在ニーズを見出し、自社の強みや技術を掛け合わせながら、今後も新しい挑戦を続けていく。

20周年まことにありがとうございます。長年に渡り、さまざまなセミナーや助成金の支援をいただけるのは、私たち企業にとって本当にありがたいことです。当社のさらなる前進に向けて、今後はDXやデザインなどの面で、外部の専門家の方をご紹介いただけたらうれしく思います。



製造に関わるセミナーには、社員を積極的に参加させています。セミナーの際など、いろいろな業種の方が集まる機会には、ぜひ別業種の皆さんとも交流したいと考えているので、そうした場を設けてもらえるとうれしいですね。

新たな挑戦に踏み出すとき、
NICOの存在が心強い

支援を得て取り組んだ開発から 新たな製品が誕生

八海山を望む南魚沼市で車載部品や時計・スマートフォン用部品をはじめ、精密プラスチック部品の成型加工を手掛けるhakkai。タイ、中国、メキシコにも工場を持ち、グローバルな事業を展開している。初めての海外見本市に参加する際に助成金を活用したのをはじめ、NICOの支援を利用しながら新たな挑戦を行ってきた企業の一つだ。

近年では成型以外の新規事業の創出も目指し、AI活用・ロボット分野にも進出。「新しいシーズから事業を始めるとするのは、やった分だけ成功するかという難しいですし、全て自前で投資するのは资金的に厳しい。そうした場面でNICOさんからの公的支援があることで、最初の一步が踏み出しやすくなります」と関社長は話す。

助成金を活用して取り組んでいた遠隔操作ロボットハンド開発は、顧客の方針変更で終了したが、そこで蓄積されたノウハウを応用してAI検査機を開発。ビッグデータによって学習し、一つの検査機で複数の部品を検査できるもので、すでに外販実績も残している。宮坂取締役は「こ



販売実績もあるAIによる自動検査装置。1台のカメラで多方面を検査できる機能を持つ。コストを抑え、100V電源でも使用できるなど導入しやすい工夫している。



不良品ゼロを前提に品質管理を徹底。

NICOクラブ会員

hakkai株式会社

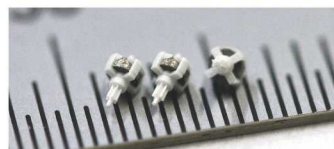
代表取締役社長 関 聡彦 氏／取締役 宮坂 重寿 氏

南魚沼市九日町2845 TEL.025-777-2410

URL <https://hakkai.jp/>

NICO活用事業

- 2012年度 海外見本市等出展事業助成金
- 2019年度 先進技術開発支援事業、イノベーション推進事業
- 2021年度 次世代産業技術創出支援事業、貿易実務講座、DX伴走型支援事業
- 2022年度 技術提案力向上支援事業
- 2023年度 データ利活用型設備導入支援事業、地域企業DX推進事業（ほか）



精密プラスチック部品は1点から対応、さらに難易度の高い金型や治工具の設計・製造から成型加工、組み立てまで一貫して対応できるのが強み。成形量産工場は24時間稼働と、人の手では作れない超精密部品も自動化による効率的な生産体制が組まれている。

うした開発を手掛けているということは、採用の場面での学生へのアピールポイントにもなっています」と話す。

セミナーやイベントでの 出会いが社員を成長させる

また、関社長はNICOのイベントやセミナーなどで得られる人との出会いが、社員に成長の機会を与えてくれていると語る。「南魚沼は工業系の会社が少ない地域。セミナー等で出会った方々とコミュニケーションを取ることによって社員が刺激を受け、社員の成長にとっても良い効果があると思っています」。

最新の開発案件としては、ハプティクスセンサー（触覚センサー）を新潟大学と共同研究中。これもロボットハンド開発の際に研究していた物の固さを瞬時に判断する技術から派生した案件だ。「当時悩んでいた際に、NICOさんから新潟大学の先生を紹介していただき、今に至っています。経済産業省のGo-Tech事業※への申請準備も進めており、そこから次のステップを目指したい」と宮坂取締役。挑戦を続けていくhakkaiのこれからに大いに期待したい。

※Go-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）：中小企業が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う研究開発、試作品開発及び販路開拓への取組を最大3年間支援する事業。

MESSAGE

NICOに期待すること

NICOさんはいつも我々に寄り添っていただいているという印象です。何か困ったことがあるとNICO担当者の顔が思い浮かびますし、相談するとセクションに関わらず関連する部署や担当者を紹介していただけるので、プロ意識が高い皆さんだと頼りにしています。今後は県内中小企業の共通の課題でもある人材確保や環境課題関連の支援を厚くしてもらえたらと思っています。

株式会社きものブレイン

代表取締役 岡元 松男 氏

[夢ファクトリー 本社工場] 十日町市高田町6-510-1

TEL.025-752-7700 URL <https://www.kimono-brain.com/>

NICO活用事業

● 2015～2017年度 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)ほか

無菌状態で蚕を飼育
食品や医薬品の原材料に

1988年に設立したきものブレインは、きもの着用後の丸洗いやしみ抜きなどのアフターケアを事業化。撥水防汚加工など着物に必要なさまざまな加工をワンストップサービスで請け負い、全国の呉服店に知られるようになった。しかし、きもの産業は徐々に縮小。本社を構える「きもの街」十日町も人口減少や高齢化の課題を抱えていた。

「何とか新たな産業を創出し、若い人の雇用や将来につながる生業をつくりたいと思いました。模索する中でご縁をいただいたのが、京都工芸繊維大学の松原藤好名誉教授です。松原教授は35年かけて『無菌人工給餌周年養蚕システム』を作り上げていました」と岡元代表。これは昔ながらの養蚕とは全く違うやり方で、無菌状態で蚕を育てることで菌やウイルスが付く心配がない。そのため医薬品や食品の原材料にも安心して使用できる。この養蚕システムに将来性を見出した岡元代表はNICOに相談。そこで紹介されたのがサポイン事業※だった。「経済産業省への申請の仕方、事業の構築の仕方など一つ一つ指導いただきました。経済産業省とのパイプづくりの面でも力強い支援をいただきました」と振り返る。



「みどり繭の力で人々の美と健康を守る」をコンセプトに立ち上げた自社ブランド「絹生活研究所」。化粧品、タオルや肌着などのファブリック、サプリメントなどを開発。



きものブレインはこれまで業界になかった「着物のアフターケア」を事業化した。創業以来、新事業への挑戦を続けている。



無菌人工給餌周年養蚕システムの事業化は、松原教授の研究室での活動で大規模な工業生産に転換する点でリスクもありましたが、その優れた機能から、バイオテクノロジーや医薬品の面で多くの人の役に立つと確信し事業化を決意しました。

世の中になかった商品を生み出し、
地元の雇用を創出する

研究開発でたどり着いた「みどり繭」。肌の老化を防ぐ抗酸化作用に優れたフラボノイドや、美容成分セリシンを白い繭よりも多く含む。大学の研究室と連携することで徹底した品質試験を行うことができ、高い機能を持つ商品が生まれた。

研究開発で生まれた
みどり繭・発酵シルクを商品化

無菌養蚕システムの研究を進めると、通常の白い繭よりも優れた機能を持つ「みどり繭」に出会った。細胞の老化を防ぐ抗酸化作用のあるフラボノイドを含有し、健康や美容への高い効果を持つことが判明。その後、東京農業大学の長島孝行教授(現在はヤマザキ動物看護大学に在籍)とも連携し、みどり繭を使用した全身シャンプーや化粧品シリーズを開発。ライフスタイルブランド「絹生活研究所」が展開するアイテムは敏感肌やアトピーに悩む人にも喜ばれ、リピーターも多い人気商品となった。

県内外大学機関と研究開発を進めながら新しい挑戦を続けている。みどり繭の繭だけではなく、蛹(さなぎ)も活用し、冬虫夏草や医薬品原材料への利用が進んでいる。また、シルク成分と植物性乳酸菌を合わせた「発酵シルク」の商品開発も進む。「無菌状態だからこそ安心して使用できます。2024年の商品化に向けて最終的な準備を進めている段階です」と岡元代表は力を込める。発酵シルクは、健康食品分野では腸内常在菌の活性化が、化粧品分野では肌の保湿や傷んだ肌の修復、抗酸化作用が期待できるという。今後の展開にぜひ注目したい。

※サポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業):経済産業省による補助事業。サポインはサポーター・インダストリーの略。中小企業が大学などと連携して行う研究開発や試作品開発などを支援する。2022年度より「Go-Tech事業(成長型中小企業等研究開発支援事業)」。

MESSAGE

NICOに期待すること

会社の歴史を振り返ると、それまでにない新しいものを作る挑戦の連続でした。その度にNICOさんに相談するのが恒例となっています。相談するといろいろな情報をいただけて、事業化のスピードを早めることができました。当社の事業を自分の事業のように一緒に考え、一緒に行動してくれる大変力強い味方です。

01

ガンジーアイスクリーム

(有)ケーエスファーム加勢牧場[長岡市]

▶ 売れる商品づくりチャレンジ会議

日本に約200頭しかいないガンジー牛の牛乳を使用したアイス。ガンジー牛乳は、濃厚なコクがありながらスッキリとした後味で、「ゴールデンミルク」や「貴族の牛乳」と称される。



02

越後雪室屋

にいがた雪室ブランド事業協同組合[新潟市]



- ▶ ニイガタIDSデザインコンペティションIDS審査委員賞
- ▶ 食の大商談会
- ▶ スーパーマーケット・トレードショー

天然雪を活用する食品保存庫「雪室」を使用した特産品の統一ブランド。県内食品会社等が参加し、100種類以上の商品を開発、販売。

03

越冬トマト

(株)曾我農園[新潟市]

▶ Design LAB(デザイン・ラボ)

ハウスの中で冬越しさせて、新潟県特有の寒暖差ストレスで鍛えたフルーツトマト。4月から6月中旬までしか出会えない期間限定のおいしさ。



04

六花ミックス

さくら製菓(株)[新発田市]

▶ 売れる食品づくりブラッシュアップ会議



もち米を職人技で焼き上げたバリバリ食感の極薄焼き米菓。新潟県内で契約栽培したもち米「わたぼうし」の一等米を製造の都度自社で精米するなど、こだわりの生地を極限まで薄く焼き上げた。



06 conte

- ・まかないボウル
- ・おてがる薬味トンガ
- ・まかない丸バット/平ザル
- ・おてがる料理トンガ 等

一菱金属(株)[燕市]

- ▶ ニイガタIDSデザインコンペティションIDS準大賞 等
- ▶ イノベーション推進事業



街全体が工場とも言える燕の、分業の技の積み重ねで出来上がった台所道具。派手さはないが、毎日の調理に欠かせなくなる使い心地。



07

くみ木の森

イビサ(株)Ibiza[燕市]

- ▶ ニイガタIDSデザインコンペティションIDS大賞
- ▶ 東京インターナショナル・ギフトショー

絵本のストーリーに合わせて「組み木」と呼ばれる木のパズルを完成させて遊ぶ知育玩具。世界三大デザイン賞の一つ「iFデザインアワード2023」等を受賞。



05 おこめ食パン

(株)タイナイ[胎内市]

▶ スーパーマーケット・トレードショー

新潟県産の米粉で焼き上げた、グルテンフリーの米粉食パン。特定原材料等を含むアレルギー物質28品目を一切持ち込まない専用工場で製造。



08

MAGIP

(有)永塚製作所[三条市]

▶ ニイガタIDSデザインコンペティションIDS賞

濡れたり汚れたりで滑りやすいものも楽にキャッチできるゴミ拾いトンガ。先端部にシリコン樹脂を採用し、安全性にも配慮された製品。



09 irogami

ひとひらのおろし金

(株)ツボエ[燕市]

- ▶ ニイガタIDSデザインコンペティションIDS準大賞
- ▶ 東京インターナショナル・ギフトショー

自分の手のひらで直接食べ物をすりおろしているような新感覚のおろし金。一枚の紙をめくったような形が手のふちにちょうど良くフィット。



10

SUWADA つめ切り プチ

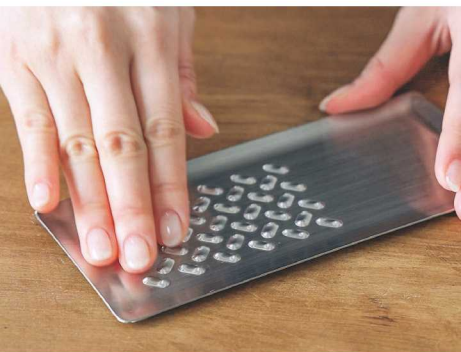
(株)諏訪田製作所[三条市]

▶ 百年物語

木製洗濯バサミをモチーフにデザインされた小さなニッパー型爪切り。子どもの手でも持ちやすく、扱いやすさは抜群。



11 トミタ式おろし金 (株)トミタ[燕市]



▶ 百年物語

誰でも安心安全かつ簡単に薬味おろしが出来る「刃のないおろし金」。トミタ式独自のあじろ模様突起が刃の役割を果たし、スムーズにすりおろすことができる。

12 ペーパーメイド ペーパーナイフ

安達紙器工業(株)[長岡市]

▶ 百年物語

本来切られる存在である「紙」を「紙」で切る道具として実現化した世界初の紙製ペーパーナイフ。軽く、使い込む程に手になじむ。



13 コーヒーポット、ドリッパー

(株)玉川堂[燕市]

▶ 百年物語

無形文化財「鋳起銅器」の老舗が作るコーヒーポットとドリッパー。銅板を叩いて造形されるフォルムは量産品にはない肌触りとぬくもりがある。

活用商品



15 NK-125MA (集塵カバー)

(株)ナカヤ[三条市]

- ▶ イノベーション推進事業
- ▶ ニイガタIDSデザインコンペティション IDS賞

建設現場等において電動工具(グラインダ)でコンクリートを加工する際に発生する有害粉塵を捕集するための集塵カバー。ほぼ全メーカーのグラインダへの装着が可能。



18 AI搭載廃棄物選別ロボット「URANOS(ウラノス)」

ウエノテックス(株)[上越市]

- ▶ イノベーション推進事業
- ▶ 長岡モノづくりアカデミー

人工知能(AI)を搭載した廃棄物の自動選別機。廃棄物の材質や形状をデータとして蓄積し、AIに学習させていくことで精度が高まる。



16 にぎり寿司成形機「寿司トング」

(株)ゴトウ溶接[燕市]

▶ 高付加価値化サポート助成事業

「誰でも簡単に職人が握ったようなシャリを作れるように」という思いから生み出された寿司トング。家族で楽しい一時を過ごすのにぴったりな商品。



agri-note



19 アグリノート

ウォーターセル(株)[新潟市]

- ▶ 高付加価値化サポート助成事業

パソコンやスマートフォンを使って、圃場や農作業など営農に関する様々な情報を記録・集計・出力できる営農支援ツール。航空写真マップを使った視覚的な圃場管理が可能。

14 Espresso Cup & Saucer

マルナオ(株)[三条市]

▶ 百年物語

木目の美しさと陰影が加わり、重厚な質感とシャープなイメージを与えるカップ&ソーサー。木の本质を知り尽くしたマルナオだからこそ生み出せる究極のカップ。



17 OMELETTE (ウェットブラスト装置)

マコー(株)[長岡市]

- ▶ ニイガタIDSデザインコンペティション IDS審査委員賞

長物ワーク対応手動ウェットブラスト装置。従来品からキャビネットサイズを拡大し、洗浄以外の用途にも対応。

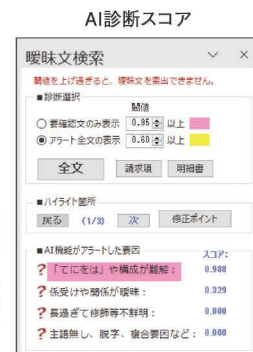


20 「特許ストーリー」シリーズ

アイビリーサーチ(株)[柏崎市]

- ▶ DX推進試作開発支援事業

特許業務を支援するソフト。人では発見しにくい特許権利文書中の曖昧な表現文章を、AIを活用してアラートする。



これからも、
あなたの「挑戦」を
応援します！

展示ホール(ウエブマーケット) →
Exhibition Hall (Web Market) →
佐渡汽船ターミナル →
Sado Kisen Terminal →

（スポートセンター）
Sports Center
新潟県立万代島美術館
Niigata Prefectural Museum
ホテル日航新潟
Hotel Nihonkai
ショップ&レストラン
Shop & Restaurant

NICCO Niihata Industrial Creation Organization

（公財）にいがた産業創造機構 職員一同

つばさ M & A パートナーズ

無 料 個 別 相 談 会

M & A で経営の困りごとや課題を解決しませんか？
つばさ M & A パートナーズはお客様と共に考えます。

M & A 事業承継個別相談会

秘密保持を厳守した中で事業承継に関する様々なお悩みをお伺いします。
ざっくばらんなご質問でも大丈夫、無料のこの機会に、まずはお話をお聞かせください。



開催日時

12/21 木

午前の部 10:00～

午後の部 13:00～

会場 つばさ税理士法人

新潟県燕市南7丁目17-9-5

申込 お電話またはメールよりお申し込みください。

☎ 0256-61-5810

✉ tsubasa.ma.partners@gmail.com



TSUBASA
M&A PARTNERS
つばさM&Aパートナーズ



つばさ税理士法人

株式会社つばさM&Aパートナーズ

〒959-1234

新潟県燕市南7丁目17-9-5 県央ランドマークANX2-B

<https://ma-partner.jp/>



株式会社
つばさ M&A パートナーズ
代表取締役 山田真一

詳細はこちら



展示会、イベントをワンストップで

企画・デザイン・設計・施工・運営

展示会・内覧会

セールスプロモーション

式典・社内行事

周年記念事業

看板・サイン・什器

イベントツール



株式会社 新宣

本 社

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目3番23号
TEL.025-243-6827 FAX.025-241-0768

HPで最新の実績を掲載しております

<https://shinsen.biz/>



Partner's Project's
Lecture Meeting at NewYear

パートナーズ プロジェクト 新春 講演会

【会場・時間】

ホテルニューオータニ長岡

講演会 NCホール 15:00~17:45
(開場14:30)

懇親会 白鳥の間 18:00~19:30

講演会・懇親会
のお申込はこちら

【会費】※会費は当日会場にてお受けします。

講演会 1名様 3,000円(税込)

懇親会 1名様 2,000円(税込)



2024年2月2日(金)15:00開演

20年以上にわたりワンストップサービスを手掛けるパートナーズプロジェクトグループならではの視点で、多数の専門家が講演します。

ご不明な点がございましたら下記よりお気軽にお問合せください。
TEL:0258-36-2685 E-mail:pro@3d-m.jp

株式会社 **パートナーズプロジェクト**®

〒940-0084 新潟県長岡市幸町1丁目3番10号 パートナーズPLAZA
TEL:0258-36-2685 E-mail:pro@3d-m.jp https://www.3d-m.jp

高野法律事務所 パートナーズプロジェクト税理士法人
パートナーズプロジェクト社会保険労務士法人 司法書士法人長谷川合同事務所
砂山法律事務所 (株)ネオス ほしの法律事務所
(一社)相続と遺言の相談センター (一社)創業・承継・M&Aの相談センター

弊社ホームページは
こちらからご覧になる
ことができます



燃料高騰・原価高騰・人件費UPに対応できるだろうか？

小川会計コンサルティングの 資金残高シミュレーションで 5年先の資金残高をチェックしませんか？

簡易版 まずはお試し！

キャッシュフロー
シミュレーション
サイト



5つの枠を
埋めるだけ

シミュレーション結果

資金残高が減少していた場合



どうする？

シミュレーションを
利用した方に ▶▶▶

特典

成長経営
ガイドブックデータを
無料プレゼント

是非お試しください！



資金残高を

プラスにしていくための計画作りを
経営支援の専門家が
マンツーマンでサポートします。

売上を上げる方法を検討する | 変動費を見直して原価を下げる | 固定費を見直して経費を下げる など

資金繰りや
経営のご相談は

毎月開催 9:30~16:00

「将軍の日」セミナー

経営者が経営戦略をじっくり考える1日「将軍の日」をきっかけとして課題を解決し、黒字化を達成している企業が複数あります。ご相談等お待ちしております。

お申込み・
支援内容はこちら



「将軍の日」って何？

ホームページから
セミナー申込もできます

株式会社小川会計コンサルティング / 税理士法人小川会計

〒950-0812 新潟市東区豊2丁目6番52号

TEL.025-271-2212 FAX.025-271-2224 担当：田中まで

NICO press 2023 12・2024 1 vol.191 2023年11月25日発行

編集・発行



Niigata
Industrial
Creation
Organization

公益財団法人
にいがた産業創造機構

〒950-0078 新潟市中央区万代島5番1号「万代島ビル」
(公財) にいがた産業創造機構 9、10、19F/NICOプラザ11F
TEL. 025-246-0025 FAX. 025-246-0030
E-mail info@nico.or.jp URL https://www.nico.or.jp



本誌は印刷時に排出されるCO₂を100%カーボン・オフセットしています。
1部あたり1円が佐渡市の「トキの森」整備に提供されます。